

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和4年11月末現在
男 15,608人
女 15,538人
総人口 31,146人
世帯数 13,393世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花 桜

◆町の木 梅

◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合

防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.125 ヒヨドリジョウゴ
(ナス目 ナス科)

学名 *Solanum lyratum* Thunb.

写真・文 安 昌美

▼ヒヨドリジョウゴとは
ヒヨドリジョウゴは、林のへりや人家近くのやぶなどに生育する、つる性の多年草です。茎や葉に柔らかな毛を持ち、赤く熟した実が集まってついていることで晩秋に目立ちます。熟した実の直径は8mm位です。写真の赤い実は、令和4年の11月に馬渡地区の林縁で見つけたものです。

漢字では「鴨上戸」と表記され、赤い実をヒヨドリが好んで食べることで、さらにヒヨドリが騒いで食べている様子が、酒に酔って騒ぐさまに似ていることから名付けられたそうです。

しかし、実際のところ、ヒヨドリが特に好んで食べている訳ではないとも言われているようです。

花は白色で、8〜9月に開花するとされていますが、まだ町内では花に出合っていないようです。県内では「やや普通」に見られる種とされていますが、町内では少ないのかもしれないです。

国内では北海道から沖縄まで分布し、国外では朝鮮半島・台湾・中国・インドシナにまで広く分布する種類です。外来植物ではなく、古くから日本に生育している在来植物です。日本にまで分布域を広げてくるのに要した時間はいったいどれほどなのでしょう。

▼ヒヨドリジョウゴの仲間
町内のナス属の野生種は、他にワルナスビ、オオイヌホオズキ、アメリカイヌホオズキなど外来植物が目立ちますが、オオマルバノホロシは貴重種で、瀬沼付近に見られます。

ねています。南アメリカに多くの種があります。しかし、ヒヨドリジョウゴにはソラニンという成分が含まれていて、誤って食べると吐き気、腹痛、下痢、呼吸中枢の麻痺を起こすとされています。きれいだからと小さなお子さんの手の届くところには飾らないでください。ソラニンは、ジャガイモの新芽や緑色になった部分に含まれるものと同じです。

ちびっ子アート 大戸幼稚園



「とんぼとコスモス」

さくら組(左から)

- おせ にじか (6歳)
- やすだ ともよ (6歳)
- さとう とあ (6歳)
- ちょう あいこ (6歳)

令和5年1月15日号の広報いばらきは休刊となります。